

tbcテレビ60周年記念ドラマ「小さな神たちの祭り」が「アジアテレビジョンアワード」で最優秀作品賞を受賞！



東北放送株式会社（本社：仙台市太白区、代表取締役社長：一力敦彦）が制作したtbcテレビ60周年記念ドラマ「小さな神たちの祭り」が、アジア最大のテレビ番組コンペティション「第25回アジアテレビジョンアワード」の単発ドラマ／テレビムービー部門で、最優秀作品賞を受賞しました。

この部門の最終選考には、6番組（当番組のほか、韓国2作品、台湾3作品）がノミネートされ、日本時間の1月16日（土）夜に当番組の受賞が発表されました。

tbcテレビでは、3月11日（木）午後11時56分から、このドラマを再放送いたします。

【番組詳細】

- タイトル tbcテレビ60周年記念ドラマ「小さな神たちの祭り」
- 初回放送 2019年11月20日（水）午後8時～午後9時54分
- 出演 千葉雄大 土村芳 吉岡秀隆 マキタスポーツ 笛木優子 サンドウィッチマン ほか
- 脚本 内館牧子
- 音楽 遠藤浩二
- 監督 松田礼人（TBSスパークル）
- プロデューサー 畠山督（東北放送） 北川雅一（テレパック） 酒井聖博（TBSスパークル）
- 制作統括 石森勝巳（東北放送）



【受賞コメント 制作統括 石森勝巳（東北放送）】

「アジアテレビジョンアワード」を受賞できて光栄です。このドラマを制作するにあたり、ご協力を頂いたすべての人々に感謝します。東日本大震災からまもなく10年。確かに町の復興は進んでいます。しかし、心の復興はというと…。大切な人を失った悲しみは消えることはありません。これからも被災地の放送局として「風化させない」というメッセージを発信していきたいと思えます。

【制作意図】

2011年3月11日の東日本大震災発生以来、tbc東北放送は被災地宮城の放送局として、ニュース、ドキュメンタリー、バラエティ、イベントなど様々な形で震災に関する情報を発信してきました。2019年、「震災を風化させない」というメッセージを「ドラマ」というこれまで行ってこなかった形で発信。失った者たちへの思い、遺されたものの人生、そして、共に生きる大切な人との未来…。決して拭い去ることのできない記憶を抱えながらも、再び前へと歩む東北の人々の希望を、一人の青年の姿を通して描きました。

【内容】

宮城県南部の町、亶理。イチゴ栽培が盛んな地域だ。

谷川晃（千葉雄大）はイチゴ農家の長男。しかし、家を継ぐ気はなく東京の大学に合格、2011年3月11日はアパート探し等で上京していた。一緒に東京に行きたいとせがんだ弟を置いて。

その弟、両親、祖父母、そして飼い犬。晃を除く家族全員がああ津波に呑まれた。

あの日から9年目の今も、まだ一人も見つかっていない。

大学を卒業後、一旦東京で就職するも挫折し、仙台で肉体労働をする晃には、東京や仙台の人々は、もう震災の事を忘れてしまっているように感じられる。仙台で知り合った恋人の岡本美結（土村芳）も同じ。しかし、その明るさに救われているのも事実だった。

付き合ってから2年、二人とも結婚を意識する頃だが、晃は家族の事を考えると、どうしても、自分だけが幸せにはなれないと踏み出せない。

そんな時、二人の前に一台のタクシーが現れる……。

【参考】ドラマ「小さな神たちの祭り」受賞歴

- 「令和元年度（第74回）文化庁芸術祭」テレビドラマ部門で優秀賞
- 「2020年 日本民間放送連盟賞」番組部門・テレビドラマ番組で優秀賞
- 「第48回 国際エミー賞」テレビムービー/ミニシリーズ部門最終選考(4作品)にノミネート

以上

お問い合わせ

東北放送株式会社 TEL 022-229-1111(代)

総務局総務部 吉田 信也

報道制作局テレビ制作部 畠山 督